

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児) ぽんぽこはうすelmo		公表日		令和8年 5月 7日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	2	基本的にはスペース及び人員配置とのバランスを踏まえ適切な定員管理を行っている。	児童が多い時にはお昼寝スペースが狭いため、眠れない児童をドライブに連れて行くなどしている。 机やイスが足りない時がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1	利用定員や児童の状態に応じた適切な職員配置を行っている。	他害の児童がいる時には、職員を増員したい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	0	スケジュール表示などの視覚的支援を用いて児童が見通しをもって過ごせる環境づくりを行っている。 動線や設備にも配慮しており、外階段には手すりを設置するなど安全面にも配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	清掃は毎日行い、定期的（年に2～3回）に大掃除も実施している。また、換気を行うなど、清潔で心地よく過ごせる環境づくりに努めている。児童が安心して活動できるよう（机の配置を変える等）活動内容に合わせた空間づくりを行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	児童の特性やその時の状態に応じて落ち着いて過ごせるよう、必要に応じて個別の部屋や場所を使用できる環境を整えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	職員会議や日々の情報共有を通じて支援内容の振り返りを行い、職員が意見を出し合いながら業務改善に取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	保護者向け評価を実施し、保護者の意向や意見を把握する機会を設けている。 いただいた意見は職員間で共有し、必要に応じて支援や運営の改善にいかしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	職員会議や日々の情報共有を通じて職員の意見を把握する機会を設けている。出された意見については共有し、必要に応じて業務改善にいかしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	法人内の他事業所や保育園の職員にも評価を依頼し、外部の視点から意見をいただいている。	第三者評価を見る機会がなく業務改善につなげられていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	8つの委員会を立ち上げ、職員の資質向上を図るため、外部研修や法人内研修を行い、学びの機会を確保している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	1	支援プログラムを作成し、Instagram、行事予定やおたより等を通して保護者に公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3	0	児童の発達状態や特性、保護者の意見を踏まえ、アセスメントを行い、個別支援計画を行っている。必要に応じ定期的に見直しを行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	モニタリング時には支援に関わる職員から児童の日々の様子を聞き取り、共通理解の下で児童発達支援計画の検討を行っている。支援の方向性についても職員間で共有している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	作成した児童発達支援計画を職員間で共有し、日々の支援の中で計画に合った支援を行うようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	日々の行動観察や記録等を通して児童の状況を把握し、必要に応じてアセスメントを行いながら支援にいかしている。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	児童発達支援ガイドラインを踏まえ、各視点を考慮しながら、児童の状況や保護者の意向に応じた支援項目を設定し、具体的な支援内容を児童発達支援計画に反映している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1	支援プログラムの柱は責任者が立案しているが、その内容については職員間で意見を出し合いながらチームで検討し、共通理解のもとで取り組んでいる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	児童の発達段階や興味関心に合わせて、制作活動、音楽あそび、SST等の取り入れながら活動内容が固定化しないよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	児童の状況や発達段階に応じて個別活動と集団活動を組み合わせた児童発達支援計画を作成し、計画に沿った支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	支援開始前には職員間で打ち合わせを行い、その日行う支援内容や役割分担を確認し、職員間で連携をとりながら支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	1	支援終了後には、職員間で打ち合わせを行い、その日の支援内容を振り返り、気付いた点や児童の様子について共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	日々の支援について記録を行い、職員間で共有している。トラブル等は速やかに報告し、支援の振り返りや改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	定期的にモニタリングを行い、児童の状況や支援の進捗を確認しながら必要に応じて児童発達支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	児童の状況をよく理解している職員が参加し、情報共有や連携を図っている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	面談時に情報をいただいたり、各関係機関と連携しながら、児童の状況に応じた支援が行えるように努めている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	並行利用や就学等への移行を見据えた支援を行い、インクルージョンの推進に努めている。各関係機関と情報共有を行い、相互理解を図っている。	送迎時に園の様子を聞いたりしているが、支援内容についてまでは詳しく情報共有はされていない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	1	就学に向けて情報共有を行い、児童の状況や支援内容について相互理解を図っている。	事業所間移行の情報共有はしているが、学校へは行っていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	3	0		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	0		
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	1	連携を図り、必要に応じて助言や情報共有を受けながら支援にいかしている。	法人内では設けられている。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	2	交流機会は設けていないが、散歩や公園あそび等の際に地域の子どもたちと関わる機会がある。	こども園などと活動する機会は難しいが、他で地域活動ができないか委員会で検討を進めている。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	連絡帳でのやりとりや送迎時の会話、必要に応じてSNSを通して保護者と日頃から情報共有を行い、児童の発達状況や課題について共通理解を図っている。		

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	家族の状況に応じて個別に助言や情報共有を行っている。	ご家族が参加できる研修等はないが、モニタリングなどで提案させていただくことがある。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	1	面談・契約時に丁寧に説明を行っている。後日、問い合わせがあった場合にも必要に応じ、説明を行っている。	把握していない。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	児童発達支援計画の作成や見直しの際には、半年に一回モニタリングを行い、保護者の意向や児童の状況を確認しながら、子どもの最善の利益を考慮した支援内容の検討を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	0	提示しながら説明をおこない、内容について同意を得たうえで署名をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	日頃から、家族からの子育てに関する相談に応じ、必要に応じて行いながら、助言や支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3		現在、時間や場所の確保が難しく、保護者会等の交流の機会は設けていないが、保護者からの要望があった際には状況に応じて検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	保護者専用の連絡用ラインや連絡帳を通して、相談や申し入れに対応できる体制を整えている。連絡があった際には内容を確認し、迅速かつ適切に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	SNSを活用し、週1~2回程度活動の様子や行事予定等の情報発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	情報の取り扱いには十分留意しており、個人ファイルは施錠できる場所で保管している。また、保護者連絡先が登録されている携帯電話にはパスワードを設定するなど適切に管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	視覚的支援を取り入れるなどして、児童や保護者にわかりやすい説明を心がけている。個々の状況に応じた伝達方法にも配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3		時間や場所の確保が難しく、地域住民を招待する行事は行っていないが、検討中である。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	各マニュアル策定し、職員へ周知している。また、避難訓練を半年に1回実施し、災害時を想定した対応の確認を行っている。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	BCPを策定し、非常災害に備えて避難訓練をしている。また、散歩時に避難経路を確認したり、絵本等を通して避難時の対応を学ぶ等、防災への取り組みを行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3	0	面談時に服薬や、てんかん発作等の児童の状況について確認している。その後も、保護者からの報告等を通して随時状況を把握できるように努めている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	0	該当する職員がいる場合、医師の指示書に基づき対応できるよう体制を整えている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	安全計画を作成し、法人内の安全対策委員会や環境整備委員会を通して研修や会議を行い、安全管理の徹底に努めている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	契約時に安全計画の説明を行っている。また、災害時の最終避難場所等についてSNS等で周知し、不明点があった際には随時説明をしている。	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	ヒヤリハットが発生した際は事業所内で共有し、再発防止に向けた対応や対策について検討している。		

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	虐待防止のため虐待防止委員会を設置し、定期的な会議や研修を実施している。職員への周知や意識向上を図り、適切な支援に努めている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	1	やむを得ず、身体拘束が必要となる場合には、組織的に判断し、保護者へ事前説明と了承を得たうえで児童発達支援計画に記載している。